

福島第一原子力発電所 1号機 原子炉建屋の躯体状況調査結果について

平成26年3月7日
東京電力株式会社

調査概要と結果

1. 調査概要

◆調査目的

福島第一原子力発電所1号機の原子炉建屋内部における建屋躯体の損傷状況把握を目的とし、原子炉建屋3階および4階について、シェル壁・使用済燃料プール壁を中心に躯体状況を調査した。

◆実施日

平成26年2月26日(水)

◆調査体制

当社社員7名

原子力規制庁保安検査官2名

◆計画線量

7.0 mSv

◆実績線量

5.85 mSv (最大)

2. 調査結果

- ① 4階北西部の天井面やエレベーターシャフトの壁の一部にコンクリート崩落などの損傷を確認したが、主要な耐震要素である、3,4階のシェル壁・使用済燃料プール壁・外壁に損傷は確認されなかった。
- ②引続き調査を進め、調査結果を反映した解析モデルにて原子炉建屋の耐震安全性評価および燃料取り出し用架構選定を進めていく。

3.1 調査結果（4階シェル壁）



写真①：4階 シェル壁(1)

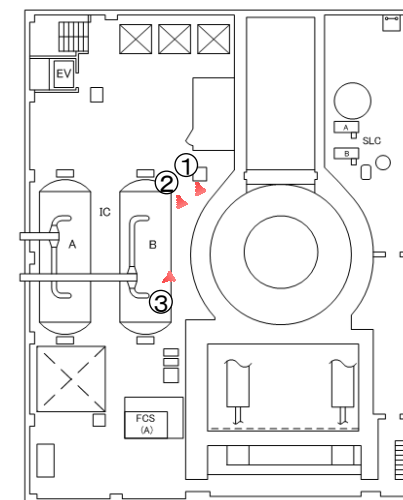


写真②：4階 シェル壁(2)



写真③：4階 シェル壁 (3)

4階シェル壁に、一部塗装の剥がれが見られる（写真②）が、コンクリートに損傷は確認されなかった。



4階 平面図

3.2 調査結果（3階シェル壁）



写真①：3階 シェル壁(1)

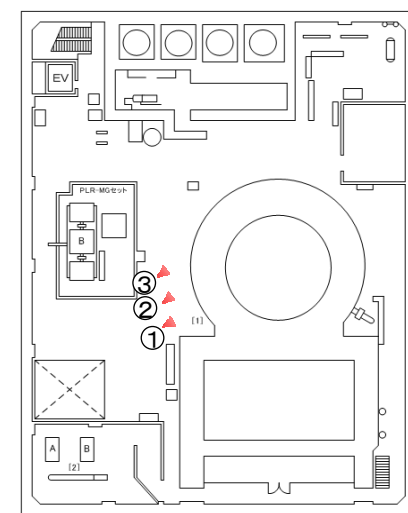


写真②：3階 シェル壁(2)



写真③：3階 シェル壁上部

3階シェル壁に、
コンクリートの
損傷は確認されな
かった。



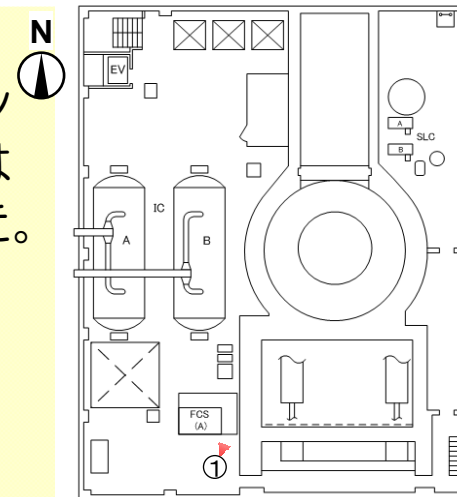
3階 平面図

3.3 調査結果（3,4階使用済燃料プール壁）



写真①：4階 使用済燃料プール壁

4階使用済燃料
プール壁に、コン
クリートの損傷は
確認されなかった。

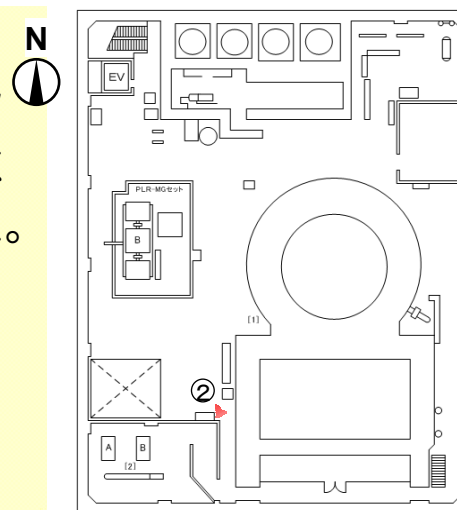


4階 平面図



写真②：3階 使用済燃料プール壁

3階使用済燃料
プール壁に、コン
クリートの損傷は
確認されなかった。



3階 平面図

3.4 調査結果（4階の外壁）



写真①：4階 北西側外壁



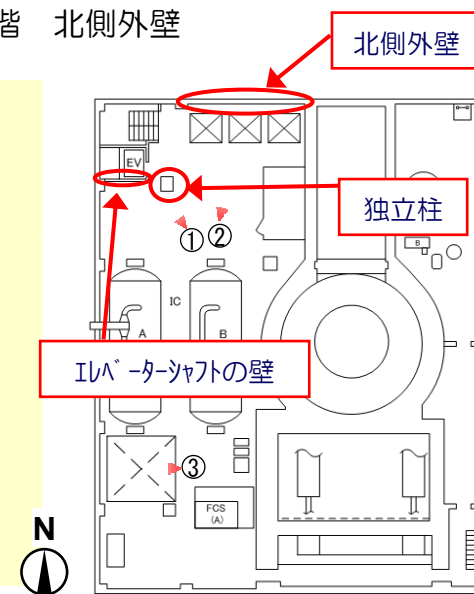
写真②：4階 北側外壁



写真③：4階 西側外壁

4階北西部のエレベータシャフトの壁や独立柱に損傷を確認した。

西側や北側の外壁に損傷は確認されなかった。

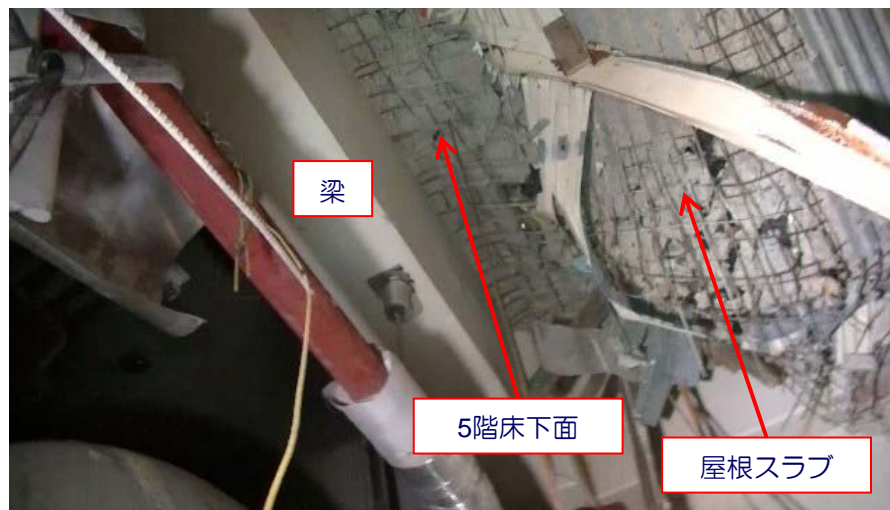


4階 平面図

3.5 調査結果（4階天井面）



写真①：4階 天井(1)

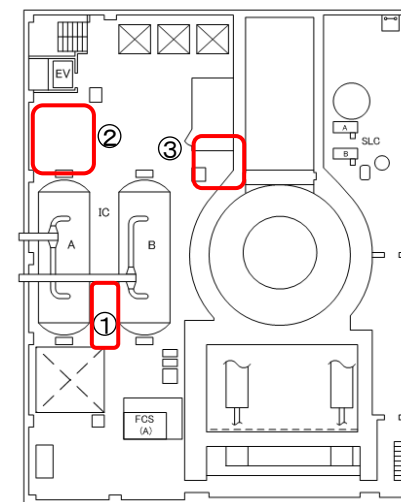


写真②：4階 天井(2)



写真③：4階 天井(3)

4階天井面（5階床面）の一部に損傷が確認された。



4階 平面図

<参考> 調査範囲と調査ルート

【凡例】

←---→ : 調査のルート

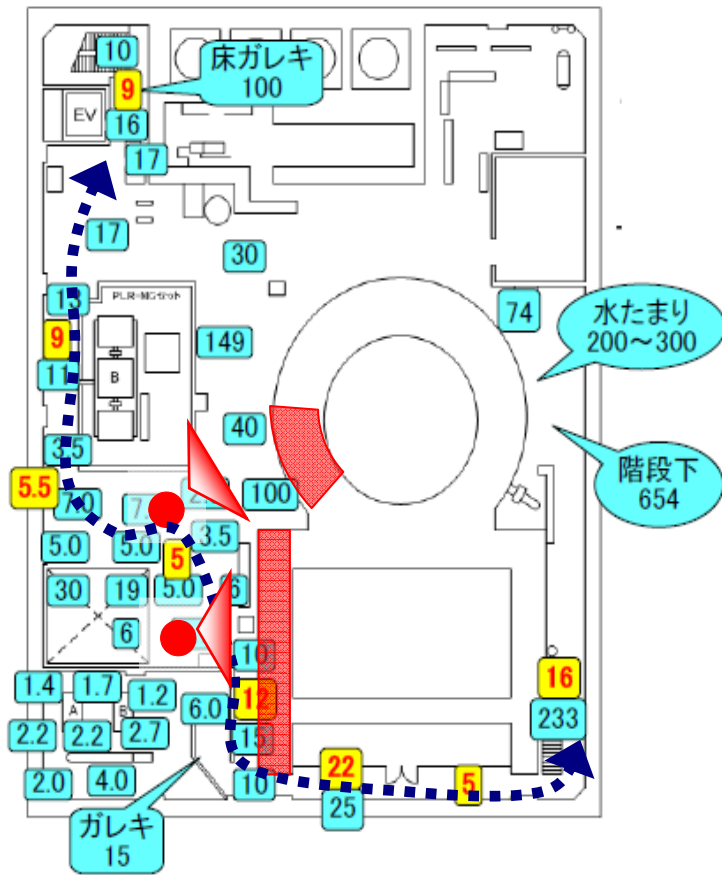
● : 撮影場所

■ : 調査範囲

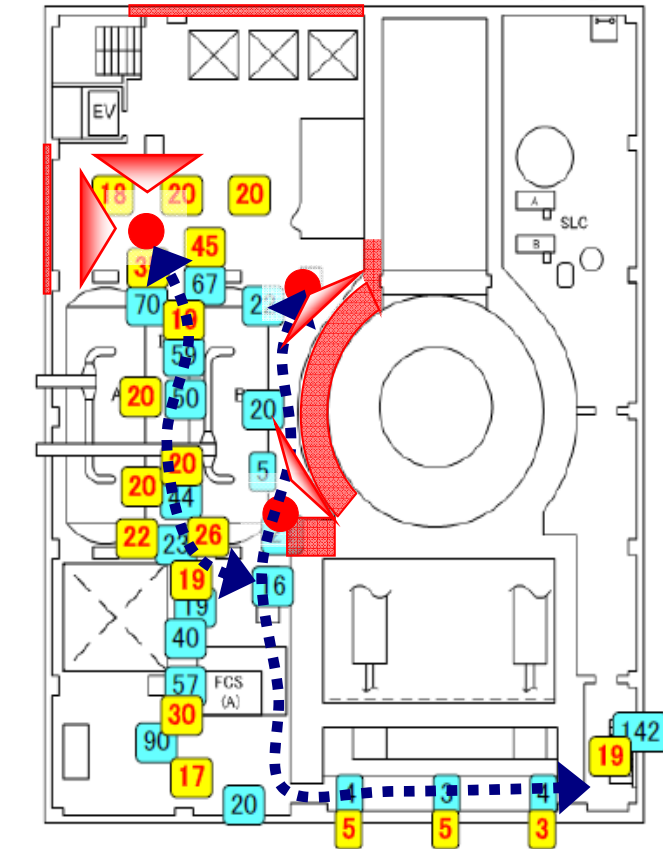
■ : H25.2/14測定値

■ : 過去の測定値

【単位：mSv/h】



【3階】



【4階】